

(別紙)

# 評価細目の第三者評価結果（保育所）

※すべての評価細目（48項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

## 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・c
<p>〈コメント〉理念・基本方針は文書化され、事務所や保育室に掲示している。また、市の広報誌や入園のしおりにも掲載され、誰もが見ることができるようにしている。理念・基本方針は平易な言葉で、理解しやすい内容となっている。職員へは研修時に理念・基本方針を説明し周知しているが、理解度の確認には至っていない。保護者には保護者会で資料を配布し、周知を図っている。今後は、園独自のホームページを作成し、より広い周知に期待したい。</p>		

### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・c
<p>〈コメント〉市の施設連絡会に参加し、他園の状況等の把握に努めている。市の福祉計画等を随時確認し内容は把握しているが、分析には至っていない。運営コストの分析は法人本部管轄となっているが、適正な運営とコスト意識をより高めるためにも、法人本部との情報共有を図られたい。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・b・c
<p>〈コメント〉施設や設備、職員体制に関する課題を明確にしている。園の課題は、保育部局長を通じて、役員等に周知され情報共有が行われている。職員から経営状況について問い合わせがあれば対応しているが、今後は、職員への積極的な周知に期待したい。</p>		

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<p>〈コメント〉法人や園の中・長期計画は策定されていない。中・長期計画が策定されていないため、今後の園の方向性が曖昧な現状である。今後は、法人の中・長期計画とともに、園の方向性を明確にした計画の策定に期待したい。</p>		

5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p>〈コメント〉園の単年度計画は策定されているが、中・長期計画が策定されていないため、それを踏まえた内容とは言えない。単年度計画は行事計画だけではなく、保育の方針・内容、地域との関わり方等も記載されており、どれも実行可能な内容となっているが、今後は数値目標を設定するなどして、評価しやすい事業計画の立案を検討されたい。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p>〈コメント〉毎年12月ごろから次年度の事業計画を作成するため、事前に職員アンケートのほか反省や意見を収集し、職員の意見を取り入れた計画の策定に努めている。今後は、中・長期計画の策定とそれを踏まえた単年度計画の策定、定期的な評価・見直しが同様に職員参画のもと実施されることに期待したい。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p>〈コメント〉保護者に対しては、保護者会で事業計画の内容や概要をわかりやすい文書で入園のしおりを使用しながら伝えている。また、年間の行事計画は、保護者参加の行事があるため年度初めと変更時に配布し理解を促している。</p>		

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p>〈コメント〉指導計画の見直しを毎月行い、主任・園長が内容を確認することで保育の質の向上が図られている。また、第三者評価は5年前に受審し、今後も定期的な受審を予定している。単年度事業計画は年度末に評価・反省を行い、全般的にPDCAサイクルにもとづいた取組が行われており、今後も継続されたい。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p>〈コメント〉月1回の職員会議で改善すべき課題を共有し、その解決策や対応を議事録に記録している。議事録を回覧し、職員全員に周知している。今後は、改善計画を作成するなどして、計画的な改善に取り組む仕組みづくりが望まれる。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を促している。	a・b・c
<p>〈コメント〉園長は「園の運営で大切にしていること」を職員に文書で提示したり、法人の広報誌に寄稿し、保護者や外部に自らの運営方針を明示している。園長の職務内容や権限は諸規程に明記され、職員がいつでも閲覧できるようにしているほか、年度初めの職員会議で職務内容・権限を表明し、周知を促している。園長不在時の対応マニュアルを作成し、職務分担表に沿って行動する内容が確認できた。</p>		

11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	①・②・③
<p>〈コメント〉園長は市の施設連絡会等に参加し、運営に係る法律や通知等の理解に努め、職員に対して関係する資料を配布する等して周知と理解を図っている。法人として、コンプライアンスや守秘義務、人権に関する規程を明確にし、職員への周知に努めている。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	①・②・③
<p>〈コメント〉園長は、保育現場を日々観察したり職員から話を聞くなどして、現状の保育の質の把握に努めており、気づいた点をその都度指摘・指導し、状況に応じて主任が代弁することもある。園長は、保育士が自ら考えて動くことができるよう誘導し、自分たちで考えて動くことができる組織作りに積極的に取り組んでいる。また、園内で障害児研修や同和保育研修を行い、保育の質の維持・向上に努めている。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	①・②・③
<p>〈コメント〉園長は、職員の働き方や就業状況を把握しており、持ち帰りの仕事を無くすため、職員が書類作成に集中できる日を設ける等して、職員が働きやすい職場環境の整備に努めている。また、職員が自らが考えて働きやすい職場に向け行動できるよう働きかけている。</p>		

## Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	①・②・③
<p>〈コメント〉事業計画に職員配置や研修の方針が明記されている。人材確保については、市主催の就職フェアへの参加や短大や専門学校への訪問、ネット広告を活用するなど、積極的な採用活動を行っている。しかし、保育実習から採用に繋がるようアプローチしているが、計画的な採用は難しいと感じている。計画的な採用に繋がるような採用活動の実施の検討に期待したい。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	①・②・③
<p>〈コメント〉人事基準はファイルでいつでも閲覧できるようにしているが、昇格する基準は明確とは言えない。職員一人ひとりの目標カードに「期待する職員像」を明示し、目標カードを活用した職員の評価が行われている。また、規程集にキャリアパスが明記され、職員の将来像が描くことができるようになってきているが、今後は、昇格に関する基準を明確にし、さらなる職員のモチベーションアップに繋がる取組に期待したい。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	①・②・③
<p>〈コメント〉園長は、職員の就業状況や働き方の意向に基づき、勤務表の作成に努めている。また、有給休暇の取得を積極的に促し、時間有給制度で融通をきかせた働き方ができるよう配慮している。やむを得ず残業が必要な際は理由と時間の申告制度を設け、できるだけ残業を減らすよう働きかけたり、書類作成の日を設けることで持ち帰りの仕事を減らすなどワークライフバランスに配慮している。年1回の健康診断のほか、隔年でがん検診が受けられるなど、女性が多い職場として配慮している点は評価できる。</p>		

	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・c
	<p>〈コメント〉 職員の目標管理制度として、「期待する職員像」を明記した目標カードを活用している。目標カードに基づいた面談を実施し、園長が評価及びコメントを記録している。一人ひとりの目標はわかりやすく明確なものとなっており、年度途中の見直しと反省、年度末の目標の達成度等の確認と次年度に向けた取組に繋がる面談の実施により、職員一人ひとりに合わせた育成を図っている。</p>	
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c
	<p>〈コメント〉 事業計画に目指す保育が明記され、その実現のために求められる保育士の専門性を読み取る事ができる。研修は計画的に行われ、職員が参加しやすいよう配慮している。園内で行う障害児研修や同和保育研修は担当を決めて、保育士が主体的に考えて行えるような工夫が見られる。</p>	
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・b・c
	<p>〈コメント〉 園長は、職員一人ひとりの技術水準や研修の受講状況を把握している。新卒や中途職員を採用した際は、法人の採用時研修のほか、新人職員には先輩職員が付くOJT研修で保育現場での指導を行い、専門性と経験値を高められるよう配慮している。外部研修には参加を呼び掛けるとともに、参加しやすいよう勤務シフトに配慮している。</p>	
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
20	II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・c
	<p>〈コメント〉 「実習生の受け入れについて」「実習生の心得」の文書に、実習生の研修や育成に関する考え方を明記している。実習プログラムは、実習生の希望・ねらい・目的を確認し、その内容に基づき作成している。実習が意義あるものになるよう、受け入れ校の教員と実習生の状況を共有している。今後は、実習指導者研修の受講を検討し、より質の高い実習となることに期待したい。</p>	

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・b・c
	<p>〈コメント〉 法人のホームページは作成されているが、園のホームページは作成途中となっている。また、法人や園の事業計画や事業報告、収支予算や決算等の最新情報の掲載が確認できなかった。地域へは、法人の広報誌「弘仁会だより」で園の取組や保育方針を公表している。今後は、ホームページを整備し、多くの情報を公開することで運営の透明性が図られることに期待したい。</p>	
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
	<p>〈コメント〉 園で取り扱う現金は小口現金が主であり、管理は園長が行っている。小口現金の出金に関する責任の所在を明らかにした書類は作成されていないが、職員には周知している様子が窺える。園の経理は法人本部の管轄であり、定期的に税理士等の指導を受けている。今後は、小口現金の取り扱いに関してフローチャートなどで見える化し、より透明性を高めることが望まれる。</p>	

## II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	①・b・c
<p>〈コメント〉事業計画に地域とのかかわり方についての考え方を明文化している。保護者や子どもが利用できる社会資源を掲示板やおたより等で伝え、利用を促している。法人内の高齢者施設や地域の敬老会等との交流のほか、田んぼのおたまじゃくし捕りや菜花摘みなど地域住民とも積極的に交流する場が設けられている。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	①・b・c
<p>〈コメント〉ボランティアの受入れの考え方は事業計画書に明文化されている。受入れの際は登録カードを作成し、ボランティアの意義や注意事項を文書にして配布している。サッカー教室や読み聞かせの絵本ボランティアのほか、保育士を目指すボランティアの受入れなど積極的に行っている。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	①・b・c
<p>〈コメント〉園に關係する機関や団体の連絡先は、必要な時に活用できるようリスト化している。発達支援センターや児童相談所、支援学校等の関係機関との会議に定期的に参加し、情報収集や共有に努めている。また、要保護児童対策地域協議会に参加し、問題の解決に向け協働する体制となっている。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	①・b・c
<p>〈コメント〉未就園児になかよし広場（園庭開放）を毎月行うほか、一時預かりや出張育児相談を行うなどして、地域の保育ニーズの把握に努め、地域の子育て支援に尽力している。また、地域の高齢者とは公民館での敬老会や園の行事の予行練習に参加を促すなどして関わり、地域の高齢者の楽しみに繋がる取組となっている。</p>		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・①・c
<p>〈コメント〉運営委員会の開催や地域の会議などの参加を通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。日頃から民生委員との連携を密にし、家庭環境などから援助が必要な母子の情報があれば、必要に応じて行政機関と連携しフォローする体制を構築している。把握したニーズに対して活動してはいるが、今後は計画に基づいた活動となることに期待したい。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	①・b・c
<p>〈コメント〉職員は、理念や基本方針の他、めざす子ども像、同和保育研修などを通じて、子どもの人権を尊重した保育の理解と実践に努め、定期的な振り返りで見直す機会を設けている。また、子どもが互いを尊重できるよう異年齢保育を実施し、保護者には人権に関して啓発するおたよりを定期的に配布するなど、職員のみならず保護者にも実践している点は評価できる。</p>		

29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a・b・c
<p>〈コメント〉プライバシー保護や権利擁護に関しては、同和保育研修や人権擁護に関するセルフチェックで日頃の保育を振り返り、おむつ交換や着替えは外から見えない場所で行う、写真使用は保護者に同意を得るなど配慮に努めている。虐待等の事案が発生した場合の対応についても明確になっており、職員も理解している。プライバシー保護に留意した手順書は確認できたが、内容の充実と幼児版の作成が望まれる。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・b・c
<p>〈コメント〉市役所のホームページで園を紹介する資料を掲載している。園の様子がわかるよう写真をふんだんに使用し、色使いも見やすいよう工夫が見られる。毎月の園庭開放や一時預かりのほか、別途見学等の希望に対応し、丁寧な説明に努めている。今後は、ホームページの作成と作成後の定期的な情報の更新に期待したい。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
<p>〈コメント〉はじまりのつどいで、入園のしおりや重要事項説明書を用いて説明している。持ち物は写真で大きさを表示するなどしてわかりやすいよう配慮している。また、事前に話す内容を話し合い、職員が共通理解のもと説明できるよう努めている点は評価できる。今年度は新型コロナウィルスの影響で行事が中止・検討が増えたことから、年度初めのほか、予定日前に再度早めにお手紙で伝えるなどの配慮に努めている。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
<p>〈コメント〉保育所の変更にあたり、市内への転園の際は、家庭票などの子どもの状況がわかる書類を園長が持参し直接伝えており、継続性に配慮した対応が行われている。市外への転園の際は、書類等の送付は無いが電話等で情報共有するよう努めている。卒園後は保護者から相談等はあるものの、卒園時に相談方法や担当者、いつでも相談できる旨を記載した文書を配布されるとなお良い。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p>〈コメント〉今年度は、新型コロナウィルス感染対策でクラス懇談会や個人懇談会を控えたが、その分連絡ノートや送迎時のコミュニケーションを重視し丁寧な対応に努めている。年1回保育園利用者満足度アンケートのほか、行事ごとにアンケートを実施し、満足度の把握に努めている。アンケート結果を集計・分析し、検討した結果とともに保護者へフィードバックしている点は評価できる。改善事項は職員会議で検討し、その都度改善に繋げている。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
<p>〈コメント〉苦情解決体制が整備され、保護者には説明及び掲示物で周知している。マニュアルは三重県社会福祉協議会作成のものを使用し、園における解決までの流れが明確となっている。苦情や相談があれば些細なことでも園長に伝え、内容や対応を記録している。検討した対応策を保護者にフィードバックし、苦情を申し出た保護者等に配慮した上で園だよりやおたよりで公表している。今後は、ホームページ等での公表と意見箱の設置箇所の見直しを検討されたい。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・b・c
<p>〈コメント〉日頃から保護者とコミュニケーションを図り、相談しやすいような雰囲気作りを努めている。また、入園のしおりや掲示でいつでも遠慮なく相談できることを伝え、意見箱やアンケート、クラス懇談会や個人懇談会など意見を聴く機会を多く設けている。個別な相談は個室で対応し、プライバシー配慮に努めている。</p>		

36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	①・②・③
<p>〈コメント〉保護者からの相談や意見があれば、夕方のミーティングで報告・共有・検討する仕組みとなっており、迅速な回答に努めている。不在の職員には伝えモシが無いよう、ミーティングノートを活用している。相談対応記録からは、適切に対応に努めている様子が窺えた。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	①・②・③
<p>〈コメント〉事故発生時対応マニュアルや年4回の事故チェックリスト、毎日の施設安全点検等により、安心・安全な保育の提供に努めている。事故が発生した場合は、カリキュラム検討会で改善策や再発防止について検討する機会を設けているが、実施した改善策や再発防止策の実施状況等を評価・見直しする仕組みの確立が望まれる。また、重大事故防止に向け、ヒヤリハットの積極的な収集に期待したい。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	①・②・③
<p>〈コメント〉感染症対応マニュアルを整備し、常に確認できるように掲示している。また、定期的な研修で互いに確認する機会を設けている。新型コロナウイルス対策として、手洗いやうがい、消毒をこまめに行い、食事の際の感染防止として席を対面ではなく一方向にする、職員が不要な外出を控える等の配慮が見られた。保護者へは、ホワイトボードやメールの活用のほか、毎月のほけんだよりで情報提供が行われている。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	①・②・③
<p>〈コメント〉毎月様々な状況を想定した避難訓練を実施し、都度非常持出袋の中身を点検している。保護者へは引き渡し訓練のほかメール連絡網を整備し、もしもの災害に備えている。消防署と連携し、立ち合いによる訓練を実施している。水や食料の備蓄が行われているが、備蓄量に関しては改善が望まれる。</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	①・②・③
<p>〈コメント〉保育の手引きとして、デイリープログラムの各場面における保育士の手順が作成されている。年度初めに乳児部会・幼児部会で確認・再検討しているが、プライバシー保護の姿勢についてより盛り込まれた手順書の作成が望まれる。また、乳児のみならず、幼児の手順書の作成にも期待したい。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	①・②・③
<p>〈コメント〉手順は、年度初めに乳児部会・幼児部会で検証・見直しを行っているが、よりプライバシー保護や権利擁護の姿勢を意識した見直しの実施が望まれる。また、幼児の手順書の作成後の見直しの実施に期待したい。</p>		

	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	①・b・c
	<p>〈コメント〉適切なアセスメントができるよう聴き取りの際に主任が同席したり、障害児等の配慮が必要なケースの場合は、市役所や発達支援センター等の関係機関とアセスメントや個別支援計画策定時に情報を共有したり助言をもらうなどの連携に努めている。子どもの状況にもとづいた指導計画が策定されていることが、計画から確認できた。</p>	
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	①・b・c
	<p>〈コメント〉全体的な保育の計画や年間指導計画は年度末に、月案・週案は毎月のカリキュラム検討会で評価・反省を行い、次の計画策定に活かすよう努めている。見直しによって変更した内容は、計画を見せるだけでなく口頭で説明し周知を図っている。</p>	
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	①・b・c
	<p>〈コメント〉子どもの発達状況や生活状況は統一した書類に記録され、指導計画にもとづく保育が実施されていることが確認できた。毎日のミーティングで情報を共有し、出勤時間の違う職員が連携できるようミーティングノートや引継ぎノートを活用している。記録内容や書き方は、外部研修のほか、カリキュラム検討会や各部会で確認しあう機会を設け、職員による差異が出ないように努めている。園の情報は園長に集約される仕組みとなっており、園長が情報を分別し必要な情報が的確に届くような体制となっている。</p>	
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	①・b・c
	<p>〈コメント〉個人情報保護規程により、記録の管理等の規程を定めている。毎年年度初めに、保育者としての心構えとして個人情報保護の重要性を説明し、守秘義務誓約書に同意を得ている。個人情報の文書やパソコン、USBメモリやデジカメなどは鍵付きの書棚に保管している。データや会議資料は氏名を抜くなどして特定されないようにし、個人情報の入った書類はシュレッダーで破棄している。</p>	

## 評価対象Ⅳ 三重県独自基準

### Ⅳ-1 地域項目

		第三者評価結果
	Ⅳ-1 地域に開かれた施設運営が適切に行われている。	
46	Ⅳ-1-① 子育て経験者との連携がとれている。	①・b・c
	<p>〈コメント〉読み聞かせ会や園庭解放のなかよし広場、高齢者施設との交流や敬老会など、子どもだけでなく職員が地域住民や高齢者等の子育て経験者と関わる機会が多い。また、地域の方から手作りの雑巾やお手玉をもらうなど昔ながらの知恵や遊びに触れることもあり、地域との良好な関係が窺える。</p>	
47	Ⅳ-1-② 子供の安全確保について地域との相互協力体制の構築を行っている。	①・b・c
	<p>〈コメント〉市の防災ネットワークが構築されており、何かあれば情報共有が行われている。裏が山林のため、野生動物が出た場合は警察や区長が見回りや報告に来ることもある。地域の方も参加する運営委員会で有事の際の連携について話し合っている。</p>	



48	IV-1-③ 地域の環境保護に貢献している。	a・b・c
<p>〈コメント〉職員は、園舎まわりの草刈りや清掃活動に参加し、地域の環境美化に努めている。子どもたちはごみの分別や節水、牛乳パックのリサイクルなど、環境保護を意識できるよう職員とともに実践に努めている。</p>		